

平成26年度「三重県企業庁の経営に関する懇談会」開催結果概要

1 日 時 平成26年12月16日(火) 13:30～15:40

2 場 所 ホテルグリーンパーク津 6階 木犀の間

3 出席者

(1) 懇談会委員(敬称略)

- ・阿部 淳一 (三菱ガス化学株式会社四日市工場 管理部総務グループ 課長)
- ・坂井 正俊 (パナソニック株式会社エコソリューションズ社津工場
生産技術グループ環境施設チーム チームリーダー)
- ・濱口 卓 (志摩市上下水道部 部長)
- ・伊藤 恵子 (伊藤印刷株式会社 専務取締役)
- ・菱田 幸子 (菱田建材株式会社 取締役)
- ・杉浦 礼子 (高田短期大学キャリア育成学科 教授)

(2) 企業庁

企業庁長、副庁長、次長、電気事業対策総括監、企業総務課長、財務管理課長、水道事業課長、工業用水道事業課長、電気事業課長、危機・事業管理監兼RDF発電監
他

(3) 傍聴者、報道機関

- ・傍聴者1名、報道機関の取材なし

4 内 容

(1) 説明事項

- ・水道、工業用水道事業の実施状況
- ・電気事業の実施状況
- ・平成25年度の決算状況
- ・「第3次中期経営計画」(中間案)の概要について
- ・平成25年度懇談会でのご意見に対する考え方・取組状況

(2) 意見交換

5 主なご意見

- ・工業用水道事業における契約水量の見直しについて、どのようなことができるのかユーザーと企業庁で引き続き検討をお願いしたい。
- ・工業用水道事業における包括的な民間委託の導入が、あまりコストダウンにつながらないのであれば、安全性の観点から企業庁自らが管理を行うなどの方向付けをしていただきたい。
- ・震災等の被災後、企業が事業を継続していくためにはインフラの復旧が必要である中で、最も復旧が遅れる公共インフラは工業用水道であると言われており、少しでも早い復旧に向けた対応をお願いしたい。
- ・人口減少に伴い、市町の水道事業の将来経営に強い危機感を持っており、今後、企業庁が市町の事業を含めて一元管理を行うなど経営安定化に向けた長期的な視点での検討もお願いしたい。
- ・電気や水道は生活に欠かせないものであるため、今後も、公営企業が責任をもって「安全・安定」供給の経営をお願いしたい。
- ・製品の品質を左右することとなる工業用水の品質の安定化についても、できる範囲で取り組んで欲しい。
- ・水道用水供給事業の成果指標「管路の耐震化」について、できる限り早い対応をお願いしたい。
- ・水道用水供給事業の「浄水場等における主要施設の耐震化」について、平成 26 年度末（現状値）で 100%耐震化が完了となっている。それ以降も施設の老朽化が進行してくことを踏まえ、単に耐震化が終わって終了ではなく、今後も常に耐震性のチェックを行って安全な状態を保っていただきたい。